

01 NEWS

アグリパーク

「秋川渓谷恵みフェスタ」開催

6月25日から28日の4日間、新宿のJA東京アグリパークで、「秋川渓谷恵みフェスタ」を開催しました。JA管内の観光協会や地元企業と共に管内農産物や市町村特産品を販売しPRしました。

JAでは特産のトウモロコシを900本販売しました。トウモロコシは毎日糖度を計測し店頭に掲示するほか、白色のトウモロコシも販売し好評でした。また、トマトやピーマン、キュウリなどの夏野菜と、野菜を花と一緒にブーケに仕立てた、ベジブーケを販売し、管内の農業をPRしました。



販売したベジブーケ



アグリパーク店内

12 つくら責任 つかう責任



02 NEWS

ミーグランプリ

7月11日、JAの直売所運営委員会日の出地区出荷部会のスイートコーン生産者は、日の出町ふれあい農産物直売所で2024年「MOROKOSHIー(Mー)グランプリ」を開きました。

11人の生産者が参加し、審査は西多摩農業改良普及センターの岡村亮主事が務め、各数値を測定しました。

「早出し部門」は6月8日に初出荷した森田明さん、「重量部門」は3本合計1,614gで原島克佳さん、「糖度部門」はBrix濃度糖度18.8%で同じく原島さんが受賞しました。



糖度を計る審査員

8 働きがいも 経済成長も



03 NEWS

日本農業新聞レポート

コンテストで職員優秀受賞

7月22日、日本農業新聞採用内定者研修レポートコンテストにおいて、増戸支店の浦野響輝職員が優秀賞を受賞しました。

このコンテストは、採用内定者が農業やJAに対する基礎知識を身につけるため、農業新聞を教材にレポートを作成するものです。

浦野さんは、東京都で宅地を農地に転換する動きが広がっている内容の記事に着目し、「今JAに求められていること」と題して、今後東京に農地を残すためには、JAが相談窓口となり、親身な対応と、風通しの良い相談環境を作ることが求められているとレポートしました。



浦野職員

4 質の高い教育を みんなに



04 NEWS

女性部機関誌100号発行

女性部は7月22日、機関誌「やまなみ」100号を発行しました。創刊は昭和63年11月で、秋川農協婦人部の誕生とともに発行され、35年間女性部の手で作られてきました。

現在は年3回、計2,400部を発行し、部員、JA役員、店頭に配布しています。

今回は100号記念特別号としてページ数を増やし、初代女性部長の特集と過去の懐かしい記事を集めました。

各支部の紹介ページでは、女性部長や、支部長経験者の方に執筆していただきました。



創刊号から100号までの「やまなみ」

4 質の高い教育を みんなに



05 NEWS

檜原村

ジャガイモ品評会開く

檜原村は7月31日、村役場特設会場で「第13回じゃがいも品評会」を開きました。村内のジャガイモ栽培農家から約10品種44点のジャガイモが出品されました。

審査員の都農業会議の杉村勝就農支援助コンダクターは、「今年は5月に雨が多く、2次生長や病気の発生もありましたが、揃いや品質が良くどれも僅差でした」と講評しました。

出品されたジャガイモは、同村小岩地区の「ひのはらファクトリー」で「じゃがいも焼酎」に加工され、後日参加賞として配布されます。



審査員による審査

8 働きがいも 経済成長も



06 NEWS

あきる野夏まつりでJAをPR

本店・青壮年部・女性部は8月3日、「第19回あきる野夏まつり」に参加しました。青壮年部は本店前で花苗や、新鮮な農産物と焼きトウモロコシを販売し、子ども向けにヨーヨー釣り、おもちゃ販売、金魚すくいをして多くの家族連れで賑わいました。

JA職員はポップコーンの販売をおこないJAをPRしました。

女性部は駅前大通りで流し踊りに参加し、58人がそりの浴衣で「あきる野音頭」「東京音頭」など全13曲を息の合った踊りで披露しました。



流し踊りに参加する女性部員

3 すべての人に 健康と福祉を



07 NEWS

檜原村「払沢の滝ふるさと夏まつり」でジャガイモPR

8月17日、18日に檜原村で「第36回払沢の滝ふるさと夏まつり」が開かれました。会場となった同村小学校の校庭では、村特産の「おいねのつるいも」、コンニャクの入った「檜原やきそば」や産業を紹介するテントが立ち並び、舞台では歌謡ショーやダンスが披露されました。

檜原支店のブースでは檜原地区じゃがいも栽培組合が出荷したジャガイモや、経済センターあいなで取り扱っている商品などを販売し、地域住民を始めとする来場客に特産のジャガイモやJAをPRしました。

両日とも夜には花火が打ち上げられ、ライトアップされた払沢の滝とともに、訪れた来場客に涼と束の間の癒しを与えました。払沢の滝は、東京で唯一「日本の滝百選」に選ばれています。



檜原村公式キャラクター「ひのじゃがくん」と特産のジャガイモをPRする生産者

12 つくる責任 つかう責任



08 NEWS

第31回健康づくり大会

女性部は8月21日、「第31回健康づくり大会」をJA本店で開きました。そろいの浴衣を着た全7支部の女性部員約196人が行進曲に合わせて入場し、やぐらのまわりに4重に輪を作りました。「あきる野音頭」、「日の出音頭」、「新五日市音頭」など各地域の曲を含む23曲を踊りました。

会場には女性部員のほか来賓やJA役員、地域住民など約400人が訪れて盆踊りを楽しみました。

青壮年部員は、新鮮な地元産野菜や子ども向けのおもちゃなどを販売し、JA職員はポップコーン、かき氷、ヨーヨーなどの模擬店を出しました。

来場者プレゼントとしてチラシにポップコーンの無料券を付けるほか、キッチンカー5台が出店し、開始時間前から親子連れが多く訪れて大好評でした。



そろいの浴衣で踊る女性部員



開会式



模擬店を楽しむ来場者



キッチンカーが並ぶ会場

3 すべての人に健康と福祉を



09 NEWS

獣害対策講習会開く

JAの営農部会は8月23日、管内の組合員を集めて獣害対策講習会を開きました。講習会は特に中山間地、山沿いの農地で獣害対策に苦慮する農家組合員の要望に応じて企画しました。地域で営農に励む組合員20人が参加しました。

講師は、全国で獣害対策指導にあたる「サージミヤワキ株式会社」の中谷洋太氏が行いました。講習会では、ハクビシン、アライグマの小型動物の他、イノシシやシカ、クマ、サルなどの野生動物の特徴を解説し、電気柵の仕組みや、効果的な電気柵の設置など、獣害対策について説明しました。

JAではこれまでも、小型動物対策として経済センターで、電気柵を販売してきました。今後は、大型動物に対応できる電気柵の設置を、JAで取り扱えるよう計画しています。



説明する講師の中谷氏



サルによる被害

12 つくる責任 つかう責任



10 NEWS

「秋留の栗」出荷

8月30日から9月下旬まで、経済センターマイムで「秋留の栗」の共同出荷をしました。生産者が持参した栗をJA職員が大きさや傷、虫食いの有無などを見て選別し、専用箱に詰め市場に出荷しました。今年は、暑さや台風が心配されましたが、大粒で食味もよい栗を多く出荷することができました。

出荷された栗は、都内のスーパーや近隣のJAで販売されました。JA管内の果樹の作付面積1位は栗で、秋川流域は栗産地として知られています。



栗を納品する生産者

12 つくる責任 つかう責任



11 NEWS

あぐりスクール開く

9月7日、第6回あぐりスクールを開きました。11家族39人が参加しました。

管内に住む親子に農作業を楽しんでもらい、自然や農業への興味、関心を高めることが目的です。

職員の指導で、マルチを張り、ダイコンの種まき、ブロッコリー、レタスの苗を植え付けました。5月に植え付けたネギは、管理が間に合わず、草に負けてしまいました。5月に植え付けたネギは、管理が間に合わず、草に負けてしまいました。



苗を植え付ける参加者



新しく仲間が加わりました!

7月より職員に新しい仲間が加わりました。よろしくお祈いします!



やまぎき こうめ
山崎 小梅

■配属先：総務部
総務企画課

■趣味：ドライブ・囃子

■抱負：何事にも挑戦し、明るく親しみやすい職員になれるよう努めます。

JA インフォメーション



山崎 翔太

秋川経済センターマイム

お客様から長く愛されるJAあきがわの人気商品です。仕込み味噌は1kg、煎茶は100gです。是非ご賞味ください。



仕込み味噌(白) 1,295円(税込) 仕込み味噌 1,295円(税込)



宝珠 1,379円(税込) 白楽 1,035円(税込) 紫鳳 820円(税込)